

お仕事のご依頼は[TwitterのDM](#)、もしくは yo@yagipy.me までお願いします。
最終更新日: 2021/02/13

自己紹介

八木橋拓之(Hiroyuki Yagihashi)です。

特にGo/Node.jsを使用したAPIサーバーや開発ツールの開発、AWSを用いたインフラ/DevOps構築を得意としています。

Reactを使用したWebクライアントの開発、Go/Node.jsの他にRailsを用いたAPIサーバー開発、Androidアプリ開発も対応可能です。

最近の業務内容としては、基本設計(要件が技術的に可能かどうかの検証、外部APIとの連携フロー作成)、詳細設計(DB設計、API設計、技術選定)、ベースコードの作成、会社単位で導入事例のない技術の検証と実装を行い、他の部分は困ったら適宜サポートするというのがメインになります。

サポートは主にレビューやペアプロ等を通して、設計意図の共有やメンバーが設計に沿った実装を行えるようにしています。

興味

より多くのユーザーや開発者が使用しているサービスやライブラリを書くことに興味があります。

多くのユーザーが存在しているサービスは、ユーザーが少ないサービスより社会的な存在意義が高いことが多いと考えているのと、多くのユーザーが存在している際に起きる技術的な問題は情報が少なく、よりチャレンジングな問題に取り組める可能性が高いと考えています。担当領域の広さに比例してやる気が高まる傾向があります。幅広い領域を担当することで、より全体最適な意思決定を行える確率が高まると考えています。

新しい技術に触ることが好きです。

新しい技術を使用することによって、今までは極めて困難だった実装が簡単に実装できることや開発者体験が良くなることが多く、そこに楽しんでいます。

現在興味のある技術分野は下記になります。

- micro services
- Go
- Rust
- wasm
- web standards

SNS

- [Twitter](#)
- [GitHub](#)
- [Blog](#)

職務経歴

からくり株式会社 (2019年4月 ~ 在職中)

▶ Details

株式会社taliki (2018年6月 ~ 2019年3月)

▶ Details

株式会社Hatty&Co. (2018年6月 ~ 2018年10月)

▶ Details

個人の活動

登壇

- Building markdown editor using Rust's parser(JS Conf JP 2021)
 - [登壇資料](#)
 - [ブログ記事](#)
- OSSに貢献した話と社内での取り組みについて(技育祭LT)
 - [登壇資料](#)
 - [ブログ記事](#)
- 簡易的な推薦機能を実装する(社内LT)
 - [登壇資料](#)
- Git/GitHub oneliner command(社内LT)
 - [登壇資料](#)

OSS

Owner - 私自身が作成し運用しているOSSになります

Maintainer - リポジトリに対するWrite権限を持っているOSSになります

Contributor - コントリビュートしたことがあるOSSになります(ここでは私自身が作成したPRがマージされたことのあるOSSに限定しています)

- Owner - [maintidx](#)
 - maintainability indexを計測する自作の静的解析ツールです
 - 詳しくは[こちら](#)
- Owner - [chameleon editor](#)
 - 自作マークダウンエディタです
 - Rustやwasmを使用しています
 - 詳しくは[こちら](#)
- Owner - [blog](#)
 - Next.js使用、TailwindCSS使用、PWA対応、AMP対応、OGP画像の自動生成等を行っています
 - 詳しくは[こちら](#)
- Maintainer - [golangci-lint](#)
 - Goの静的解析ツールをまとめて実行してくれるツールです
 - [maintidx](#)を追加する実装をしました
- Contributor - [go-gimei](#)
 - レースコンディションを回避する実装をしました
- Contributor - [Node.js](#)
 - fsPromise.writeFileのdata引数としてasync iteratorsをサポートする実装をしました
 - 詳しくは[こちら](#)
- Contributor - [DroidKaigi conference app 2021](#)
 - ダークモードの対応や軽微な修正を行いました

コミュニティ

- Staff - [Go Conference](#)
 - [2022 Spring](#) から運営のお手伝いをしています